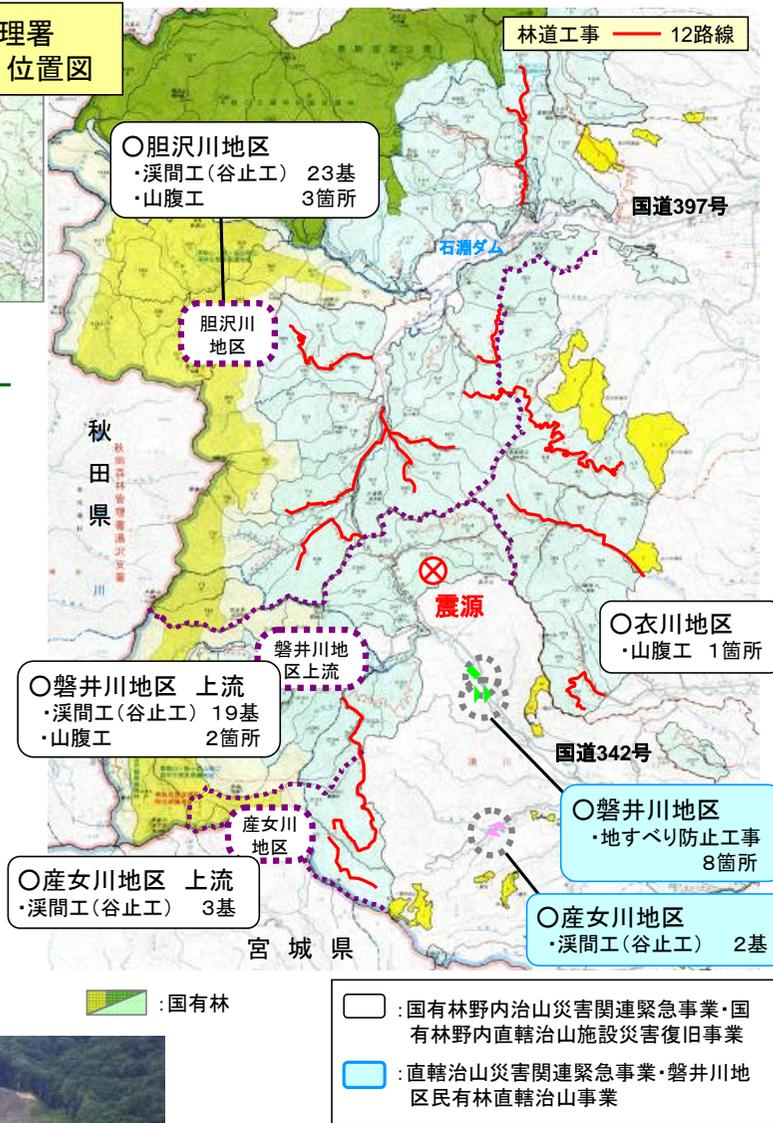


■ 概要

平成20年岩手・宮城内陸地震による被災箇所のうち、平成23年度末までに、国有林治山事業で溪間工45基、山腹工6箇所、民有林直轄治山事業で溪間工8基、山腹工6箇所、林道災害復旧事業で12路線を整備しました。



○磐井川地区(市野々原)

地震によって市野々原地区では磐井川の右岸で大規模な地すべり(約20ha,移動土砂360万m³)が発生し、磐井川を150mに渡って完全に塞ぎました。地すべり土塊は磐井川対岸の岸壁にぶつかって止まりましたが、地すべり地内には不安定土砂や倒木が大量に発生しました。また、上流側に形成された土砂ダムが決壊するとこれらを巻き込んで泥流化し、下流域に甚大な被害を及ぼす危険がありました。

対策工において、地すべり地内の不安定土砂を取り除き、斜面下部に移動させて押さえ盛土とすることで、地すべりを安定させました。

岩手・宮城内陸地震3周年 市野々原復旧記念植樹の様子



小学生による植樹の様子



市野々原地区住民による植樹の様子



植樹記念標柱とともに

市野々原地区の災害復旧地において、地震から3年となった平成23年6月14日に地元小学校、地域住民および多くの一関市民にご参加いただき植樹祭を行いました。



平成23年度 施工完了箇所

平成23年度は、国有林治山事業で2件、民有林直轄治山事業で2件の工事を実施しました。
うち国有治山事業1件（真湯治山工事）、民有林直轄治山事業1件（ニゴリ沢第一工区）は引き続き平成24年度の工事を予定しております。

平成23年度工事完了箇所



産女川【溪間工(谷止工)】



ニゴリ沢第二工区
【地すべり防止工事】

平成24年度 施工予定箇所

平成24年度は、国有林治山事業で1件、民有林直轄治山事業で2件の工事を実施を予定しています。

① 真湯(真湯キャンプ場)【山腹工】

国道や崩壊地下部に位置する真湯キャンプ場を保全するため復旧工事を鋭意実行しています。
平成23年度までに、落石等の危険のある土石を除去し、安定斜面に整形し、緑化を図りました。
平成24年度は引き続き斜面の安定及び緑化を予定しています。



平成23年9月21日撮影

② ニゴリ沢第一工区【地すべり防止工事】

地すべり頭部の不安定土砂を取り除き(排土工)、すべり面下部へ盛土(押え盛土工)することにより、斜面全体の安定を図りました。
また、地すべり土砂によりせき止められた溪流の土砂や倒木を取り除き、斜面は整形することで安定させた上で緑化をしています。
平成24年度は地すべり地帯末端部の対策として溪間工を予定しています。



平成23年10月30日撮影

③ ニゴリ沢第二工区【地すべり防止工事】

平成24年度は地すべり崩壊箇所(2箇所赤点線枠部分)の対策として、地すべり頭部の不安定土砂の除去(排土工)し、斜面を整形、安定させた上で緑化を行う予定です。

